

【NEWS RELEASE】

2021年11月15日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

「PCAF Japan coalition」の発足と参画について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、グループを総称して「SMBCグループ」）は、国際イニシアティブ「Partnership for Carbon Accounting Financials（以下、PCAF）」の本邦加盟機関6社によって、新たに発足した「PCAF Japan coalition」へ参画いたしました。

2015年のパリ協定採択以降、気候変動への取り組みはグローバル規模で急速に拡大しており、2050年に向けた脱炭素社会およびカーボンニュートラル実現の機運が高まるなか、金融機関が投融資ポートフォリオを通じた温室効果ガス（GHG）排出量を計測し、削減していくことが、これまで以上に重要になっています。

PCAFは、金融機関の投融資ポートフォリオを通じたGHG排出量を計測する手法を開発しており、2021年11月現在、世界48カ国の、商業銀行・投資銀行・保険会社・機関投資家等170以上の金融機関が加盟しています。

このたび発足した「PCAF Japan coalition」では、PCAFグローバル事務局からのサポートを受けつつ、参画機関及び金融セクターで経験・知見・課題の共有や連携を進め、投融資を通じたGHG計測・開示が本邦金融機関に広く普及・浸透するよう取り組みを促進していきます。

SMBCグループは、2050年までに投融資ポートフォリオ全体から排出されるGHG排出量をネットゼロとすることについて、コミットメントを公表しております。その達成に向け、投融資ポートフォリオにおけるGHG排出量の把握は重要な取り組みであり、PCAF Japan coalitionへ参画することで、SMBCグループ並びに金融業界におけるGHG排出量の測定・開示の高度化を進めていきます。

SMBCグループは、サステナビリティ宣言に基づきお客さまをはじめとするステークホルダーとの対話を重ね、共に行動することにより、サステナビリティの実現に積極的に貢献してまいります。

以 上